

日本女性会議 2001みと報告

今回「日本女性会議2001みと」での二日間の研修は、内容の濃いものでした。基調講演では社会的自立と家族の在り方を学び、今の私にはとても参考になりました。分科会では家庭・学校・地域での子育ての大切さと、それぞれの形が変化してきた現代の子育ての難しさについて考えさせられました。特に「不登校の子どもや親がとても悩み、辛い思いをしている。それは、社会全体が学校にいかないことは悪いことだと思っているから。義務教育とは子どもが学校に行く義務ではなく、子どもが教育を受けたいと言



った時に受けさせる義務が親や社会にはあるということ。学校だけが教育の場ではなく、フリースクールなどで学んでいる子ども多い。少し違った視点で教育・学校が見えるようになりました。記念公演での澤地久枝さんの生命についてのお話は、タイムリーなこと

男女共同参画社会の実現をめざして、昨年の9月28日、29日の2日間、全国から参加した3,200人が水戸市内の会場で「世紀を拓(ひら)こう あなたと偲(とも)に」をテーマに話し合いました。

もあって非常に衝撃的でした。一人ひとりがしっかり考え、手を結んで、かけがえない生命を守っていかなくてはいけないのだと思いました。平和であることの大切さを学びました。

大分市PTA連合会副会長

荒川 京子

※この会議の参加者による報告書を作成していますのでご利用ください。お問い合わせは女性政策推進室へ

大分市男女共同参画推進事業

“夜空ノムコウ”へそして 翼をください” フォーラム2001に参加して

「トウマーン」編集委員 首藤 京子

平成13年11月21日(水)13:30~16:00
コンパルホール1階文化ホール
テーマ:共に歩こう、未来に向けて!
【第1部】記念講演 西谷尚雄氏
「時代を拓す者、テレビCM」
～テレビCMにみる男女共同参画～
【第2部】ばってん劇団公演
肥後わかで笑って考えよう!
男女共同参画社会

500人の大合唱
出演/アンサンブル「みどりのそよ風」

私はよく「貴方らしいわね」と言われます。友人の言う「私らしさは自分では解りませんが、フォーラムに参加して、自分らしさの磨き方に気づきました。

西谷尚雄さん(CMプロデューサー)の講演の中で、「らしさ」は時代により変わり、男女という以前に「自分らしさ」を持つべきで、「人間的ならしき」がある方がよい。自分らしさとは?人間らしさとは?簡単に言えば「思いやり・愛・優しさ」である。それはその人がどういう人生を歩んできたかで違い、その中に「らしさ」が生まれてくるのだと。人間は心で生き、愛というソフトを持っており、それを忘れないで欲しいといつも思っていましたので、とても感動いたしました。

どんな人生を送るかは自分で選択するのですが、その中で人間関係が一番

難しいと感じます。多種多様な人間関係がうまく行くキーワードはと考えると、「二人は自ら挨拶が言えた時、人間として生きる」と言う中村淳子先生の言葉を思い出しました。自分から相手の目を見て「ありがとう」と言える人間になればいいのだと気づきました。お互いに目を見て言える人間関係は本物だと思います。どんな環境の中でも「自分らしさ」を考えて生きると楽しく人生を過ごすことができる様に思いました。

